

あいち農産物生産流通レポート

平成21年8月号

情報サロン		
・シソの袋培地栽培技術を確立しました	(農業総合試験場).....	1
地域トピックス		
・白くて粘りの強いもちができる糯米新品種「中部糯110号」を開発	(農業総合試験場).....	2
東日本情報		
・平成20年度京浜市場における愛知県秋冬野菜の販売結果について	(東京事務所).....	3
西日本情報		
・京阪神愛知会通常総会の開催について	(食育推進課).....	5
フラワーページ		
・花の王国あいち推進事業について	(園芸農産課).....	7
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場).....		8
・名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し.....		9
花き		
・切花・鉢花の8月の見通し(県内市場).....		21
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2009年5月).....		25
関連指数	26

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

シソの袋培地栽培技術を確立しました

愛知県のシソ生産

愛知県のシソは全国1位の産出額、出荷量を誇る特産野菜ですが、近年シェアは減少傾向にあります。その一因として連作障害による生産性低下が挙げられます。そのため、土壌病虫害を軽減し、高品質なシソの安定生産技術の開発が望まれていました。

そこで、東三河農業研究所では、平成16年に開発した「袋培地栽培法及び袋培地（特許出願中）」を利用したシソの栽培試験を行い、安定的に生産できる技術を確立しました。

袋培地栽培技術の概要と特徴

この栽培技術は、培土をつめたポリエチレン製の袋を培地（以下袋培地）として用います。施肥・かん水は、必要量を株元に差し込んだ点滴チューブから少量ずつ行います。下敷シートと発泡スチロール板等により地面から確実に隔離して、土壌病虫害の侵入を防ぎます。この栽培方法で、品質や収量の向上、土壌病害の回避、環境負荷の低減、作業の省力化などが実現できます。

現在ではトマト栽培での利用を中心に全国15haに普及しています。

シソの袋培地栽培技術における施肥・かん水

施肥は、シソの生育に適した組成の液肥を、生育状況や季節に応じて1日の必要量を朝と昼の2回に分けて施します。土壌溶液中のECが5mS/cm以上になると葉先枯れ等の原因となるので、施肥量を調節する必要があります。

かん水は、1株あたり1回50mlを基本として、土壌水分センサで培地の水分を計測しながら1日に数回自動で行います。土壌水分の設定はシソの生育に合わせて調節します。

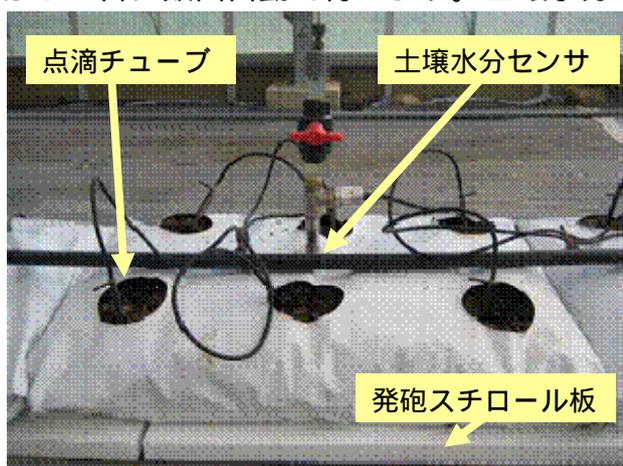


図1 袋培地とセンサ等の様子



図2 栽培状況

この方法により、連作障害の回避や、生育に適した水分・肥料の精密管理が可能となり、高品質なシソを安定的に生産できます。この技術の詳細は、農業総合試験場ホームページ（URL：<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>）の「農業の新技术」でご覧になることができます。

白くて粘りの強い餅ができる^{もち}糯米品種「中部糯110号」を開発

研究の背景

本県山間・中山間地域の水田は、面積が小さく谷あい^{やま}に散在し、またほ場により気温や日照時間が様々です。このため、地域全体での品種統一はむずかしく、ほ場条件に合わせて数品種の水稻が作付けられています。

生産者からは、糯米生産においても、加工に適し差別化、高付加価値化が可能で、ロットが小さくても有利に販売できる品種の育成が望まれていました。そこで、農業総合試験場山間農業研究所では、山間・中山間地の自然条件にあった特色ある糯米品種の開発に取り組み、「中部糯110号」を開発しました。

品種特性～餅・おこわは「極良好」～

「中部糯110号」の特徴は、加工したときの食味が大変良いことです。山間地域で良く栽培されている「ココノエモチ」と比べると、餅にしたときの白度が高く（図1）、やわらかい食感で、粘り、伸びとも優れます。

栽培上の特徴は、「ココノエモチ」と比較すると次のとおりです。

- ・出穂期、成熟期は2週間程度遅い
- ・稈長はほぼ同等、穂長はやや長く、穂数は少ない
- ・止葉が直立し、草姿はごく良好である（図2）
- ・収量は約1割程度多収。玄米の粒の大きさは中、玄米千粒重は0.3g程度軽い

夏涼しく、日照時間が短い山間・中山間地域で多く発生するいもち病については、葉いもち抵抗性はやや強、穂いもち抵抗性は強です。また、縞葉枯病抵抗性を持っています。



図1 押し餅のサンプル



図2 収穫前の草姿

品種の導入効果

「中部糯110号」は、加工適性や栽培上の特徴から、山間・中山間地域での栽培に適した付加価値の高い糯米品種です。白くて粘りのある餅やおいしいおこわなど差別化できる特産品の開発により、山間・中山間地域の振興が期待できます。なお、本品種の開発は農林水産省の指定試験事業として実施した成果です。

平成 20 年度京浜市場における愛知県秋冬野菜の販売結果について

7月7日に品川区において京浜市場愛知県野菜連絡会主催の秋冬野菜販売反省会が、京浜地区の卸売会社38社と愛知経済連等が出席して開催されましたので、その概要を今月と来月の2回に分けて報告します。

1 販売結果概要

平成20年度の京浜・関東市場における秋冬野菜全般については、大きな台風被害もなく比較的天候に恵まれ、10月は順調な入荷により価格は前年を大きく下回りました。11月は曇天と気温低下により生育が停滞したことから入荷減となり、価格は前年を大きく上回りました。12月上旬は曇天と低温ぎみの天候が多く生育は停滞傾向にありましたが、下旬には回復し入荷量、価格ともに前年並みとなりました。

1月は月上旬の低温・乾燥、下旬の日照不足が影響し、入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回りました。2月に入ると一転して暖冬傾向による前進ぎみの入荷となりましたが需要の伸び悩みもあり価格は安値で推移しました。3月の入荷は前年をやや下回りましたが、需要の弱さから価格は前年並みとなりました。

本県産野菜の販売状況は、経済連東京営業所扱いで23,013百万円（前年度対比103%）、数量は92,708トン（同104%）、単価は248円/kg（同110%）となりました。

関東・東北市場における愛知県野菜の販売実績

〔単位：百万円〕

販売金額 上位5品目	20年度	19年度	18年度	17年度	16年度
キャベツ	4,105	3,578	2,822	4,346	4,296
ブロッコリー	1,815	1,595	1,624	1,486	1,239
トマト	4,109	4,069	3,905	3,886	3,917
ミニトマト	3,357	3,302	3,187	3,216	3,186
おおば	3,580	3,535	3,615	4,234	3,819
その他	6,047	6,230	5,957	6,158	6,162
野菜計	23,013	22,309	21,110	23,326	22,619

(JAあいち経済連東京営業所とりまとめ)

2 品目別販売概要（京浜市場愛知県野菜連絡会の各研究会がまとめたもの）

(1) キャベツ

ア 販売経過

本年は9月中旬以降の長雨、ゲリラ豪雨の影響により定植遅れとなり、出荷量は昨年を下回り単価高のスタートとなりました。11月～12月期は低温、干ばつの傾向が続く中、玉伸びは悪く出荷数量は増えず高値基調が続きました。年末年始の市場単価は小売価格に合った単価で推移したため、量販店は在庫の残らない販売ができました。このため年明け初荷からのだぶつきもなく1月末まで高値基調で推移しました。2月に入り数量は増加しましたが、量販店の春商材としての売り込み、果菜類等他品目の入荷減の影響により大幅に単価を下げることなく売り抜けることができました。本年4月出荷の「冬のぼり」の作柄は悪く、近年

にない高単価で販売されました。

イ 競合産地の動向

千葉県：生育は前進傾向でありましたが年内はほぼ計画数量並みの出荷量でした。昨年のように年末に集中出荷がなされることもありませんでした。3月に入り、冷え込みの影響により数量減、4月には菌核病等の発生により品質低下がみられました。なお、東葛地区の冬系キャベツは減少傾向にあります。

神奈川県：作型は平年並みで数量もほぼ計画通りの出荷でした。しかし4月に入り計画を上回る出荷量となりました。

茨城県：本年もハクサイからの転換が目立ち、秋、春作ともに生産意欲は強いです。

輸入：昨年の中国産冷凍ギョウザの薬物混入事件後、減少傾向にありましたが、本年、国産キャベツが高値で推移したため、中国産キャベツが業務需要向けに輸入されました。また、1月下旬には韓国産が市場販売用に輸入されました。

ウ 消費動向

本年は年末198～248円、年明け128～158円での販売が主流でしたが、仕入れ価格が例年になく高値であったため、シーズンを通し二分の一カットや四分の一カットで販売されました。

エ 野菜連絡会から本県への提言

- ・さらなる加工契約取引の推進と対応
- ・出荷時期に合った品質の検討
- ・年末年始の対応

(2) ブロッコリー

ア 販売経過

今シーズンの販売については前年同様11月上旬のスタートで、需要期である12月のクリスマスから年末まで比較的順調な入荷となりました。これによって大きな高値はなかったものの100円/玉前後の安定した販売となりました。年明け1月については、低温、干ばつの影響で競合産地も含め数量が大幅減となったことから高値での販売となりました。その後については、春商材として数量の増加が見込まれたことにより量販店での特売が急増したことにより販売は安定しました。4月の販売は安定したものの、連休以降は集中出荷となったことから厳しい販売となりました。

イ 競合産地の動向

埼玉、群馬、栃木、福岡を中心に、近年では産地でも作付は増加しています。しかしながら大幅に作付が増えた香川産、九州産は今シーズンは天候に恵まれず、大きな増加はありませんでした。今後も香川産、福岡を中心とする九州産は、京浜市場に向けて相対取引を中心に増加する見込みです。

ウ 消費動向

量販店においても特売商品として人気があり、通年安定して販売されています。今後も需要増が見込まれる品目のひとつであります。

エ 野菜連絡会から愛知県への提言

消費宣伝会の実施。シーズンを通じての値決め等による相対的な取引の拡大。

京阪神愛知会通常総会の開催について

京阪神の卸売会を会員として昭和50年に設置された「京阪神愛知会」は、京阪神地域の青果市場における愛知県青果物の生産・販売・流通の改善や需要拡大・消費宣伝活動を行っています。

平成21年度京阪神愛知会通常総会が、6月27日に大阪市中央卸売市場で関西の卸売会社18社と愛知経済連等が出席して開催されましたので、その概要を報告します。

1 平成20年度の販売結果と平成21年度の目標（岩崎会長あいさつ）

平成20年における京阪神地域における愛知県産野菜の販売状況は、野菜が前年の106%と健闘したものの、果実は前年比89%と苦戦した。愛知県産青果物の取扱いは、主力のキャベツが入荷量、価格ともに好調でした。

平成21年は、昨今景気が底を打ったといわれているが、市場の販売状況は依然厳しさが残る。高齢社会への移行に伴い、青果物の購入でも、「欲しい時に、欲しいものを、欲しいだけ」購入する、オンデマンド化、少量多品目化の傾向にあり、全面委託販売から様々な種類の取引方法への対応が求められています。

また卸売手数料の自由化も、当面3年間は据置でも今後の対応が求められます。

このような状況の中、この京阪神愛知会会員における愛知県産取扱いを野菜90億、果実10億、計年間100億円という目標を立てて必達すべく取組んでいきたいと考えているので産地の協力をお願いしたい。

京阪神市場における愛知県青果の販売実績〔単位：百万円〕

野菜	経済連全体	前年比	京阪神地域	前年比	シェア
キャベツ	10,566	122	2,286	145	22
おおば	8,932	98	2,027	101	23
はくさい	1,260	110	621	110	49
トマト	6,822	99	579	113	8
きくはな	1,753	78	551	80	31
上記以外	34,142	100	2,381	91	7
野菜計	63,475	102	8,444	106	13

果実	経済連全体	前年比	京阪神地域	前年比	シェア
すいか	1,043	92	224	95	21
アールスメロン	895	105	179	121	20
非ネットメロン	485	89	91	86	19
ネットメロン	283	87	65	84	23
次郎柿	694	85	58	64	8
上記以外	11,754	93	96	71	1
果実計	15,155	93	713	90	5

2 部会活動方針について

3 部会（野菜、促成、果実）の活動方針及び販売目標の説明

・活動方針

野菜は、主要品目の取り組みを強化するとともに、新規品目の提案・開拓も積極的にを行う。

果実は、主要品目（瓜類・果樹）の取り組みを強化すると共に、消費宣伝を積極的にを行う。

(1) 野菜部会（大果大阪青果株式会社 中内常務取締役）

20年度 一般野菜の半分を占めるキャベツが価格・数量伸びた。

21年度 販売金額目標は45.7億円、今年度の102%。

キャベツ以外の中心的品目は作付減少に伴い販売、売上も減少している。

洋菜、果菜の販売が課題。新規品目の開拓が必要。

経済連の水谷課長には、今年1年、京阪神の販売だけを考えてほしい。

目標達成のために、会員各社の御協力をお願いする。

(2) 促成部会（大阪中央青果㈱ 豊原執行役員）

20年度実績は前年比93%と落ち込み、販売数量は減っている。

景気の後退で、促成ものも販売は苦しい展開。

21年度は主力のおおばに販売努力を集中して、全体実績を上げていきたい。

20年度は消費宣伝活動を量販店で展開した。販売環境は厳しいが、21年度の販売目標44.3億円、今年度の112%を目標に、販売に力を入れていきたい。

(3) 果実部会（中青 石原課長）

果実は景気後退による消費意欲の減退により、販売の落ち込みが激しい品目で、ここ数年来、前年比で減少が続いている。

21年度の目標は10億（前年比140%）と高めに設定。

20年度に販売が大きく減少したのは、柿、露地メロン。21年度は販売を強化。

先日のスイカ・露地メロンの品質検討で、今年度の出来は昨年度よりよいとの感想を持った。販売促進活動を十分に行い、消費拡大につなげていきたい。

いちご、露地いちじくの入荷は、京阪神愛知会にとって長年の念願。今年こそ入荷を期待している。特に「いちご」の入荷を。

販売環境は大変厳しいが、露地メロンの入荷量は維持してほしい。

単価も、安売りすることなく維持し、今年は愛知産売上額10億を達成できるよう販売努力していきたいので、会員各社の御協力をよろしくお願いしたい。

京阪神愛知会 取扱高目標

〔単位：百万円〕

	21年度目標	実績比	20年度実績	前年比
野菜計	4,567	102	4,487	121
促成計	4,433	112	3,958	93
果実計	1,000	140	713	90
野菜計	10,000	109	9,157	105

（J A あいち経済連大阪駐在とりまとめ）

花の王国あいち推進事業について

愛知県は、愛知県花き温室園芸組合連合会、愛知県経済農業協同組合連合会と共催で一般県民に対して広く、花の生産日本一である愛知の花についての理解を深めるとともに、花に親しむ経験をしてもらうことを目的に、「花の王国あいち推進事業」を実施しています。

今年度の事業は、(1)花に込めたメッセージ募集、(2)地域における花育教室の開催の2つです。

(1)花に込めたメッセージ募集について

あいちの花への興味や関心を持ってもらうために、花を贈るときに添えるメッセージを募集します。

メッセージは、100字程度で、愛知県在住・在勤・在学の方ならどなたでも応募できます。すてきなメッセージを応募していただいた方から抽選で30名に、応募していただいた“メッセージ”を添えて季節の愛知産の花束をプレゼントします。

応募の詳細は、園芸農産課ホームページか、県花き連ホームページ

(<http://www.kakiren.sakura.ne.jp>)にあります。

(2)地域における花育教室の開催

「花育」とは、子供達が花とふれあうことにより、情緒の安定や優しい心を育て、また、花を身近におく習慣をつけることにより花の消費拡大につなげようとする活動のことをいいます。

7月はじめに名古屋市内の小学校で、愛知県花き卸売市場協同組合の青年部（愛昭会）と協力して、花育教室を開催しました。



花の説明をする愛昭会メンバー

愛昭会のメンバーが、花の市場とは何かを説明し、市場から持ってきた新鮮な花 12種類の名前や特徴をクイズ形式で説明しました。その後、240本用意した花の中から子供達に好きな花を選んでもらい、フラワーアレンジを行いました。

子供達の好きな花で好きなようにアレンジするという、はじめての企画でしたが、終始笑い声の絶えない、非常に楽しい会となりました。

今後も、このような活動を花き関係者と協力しながら、地域に根ざした形で続けたいと考えています。

今後、このような活動を花き関係者と協力しながら、地域に根ざした形で続けたいと考えています。



みんなの作品をもって記念写真

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋中央卸売市場（品目：巨峰）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	1,627	273 (17%)	728	812	長野 (68%) 山梨 (14%) 福岡 (1%)
21年見通し	1,600	300	730	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>長野、山梨を中心に入荷する。今月は露地ものへ移行する時期。生育は露地もので前進傾向で、房数、房の大きさは十分ある。害虫の発生が若干見られる。生産者の高齢化により作付面積は減少傾向で露地もの出荷は前年比95%の見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>			<p>消費者の低価格志向から、長野では露地栽培への転換が進む。 給食等の需要には種なしであることが絶対条件。大粒のピオーネや、皮ごと食べられる品種も人気がある。 珍しい品種は高い単価を維持しているためブランド戦略も重要である。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：いちじく）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	488	264 (54%)	556	598	和歌山 (39%) 静岡 (4%) 埼玉 (1%)
21年見通し	480	-	570	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>ハウスものから露地ものへ切り替わる時期となる。愛知を中心に和歌山、静岡などから入荷する。和歌山の生育は順調で平年よりやや進んでいるが7月の天候不順の影響が懸念される。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに上回ると見込まれる。</p>			<p>いちじくは、夏から秋の果物として定着してしている。本県産の品質の高さは量販店にも支持されているので、品質管理や等階級別の選果には特に注意をお願いしたい。 また、作柄や出荷情報など市場との連絡を密にして欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し

名古屋市中央卸売市場

7月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
野菜計	16年	36,086	188	202	177	北海道	29%	
	17年	33,119	193	213	188	長野	20%	
	18年	33,256	208	195	227	兵庫	9%	
	19年	32,946	208	210	220	群馬	8%	
	20年	34,757	184	203	159			
	5カ年平均	34,033	196	-	-			
	21年見通し	33,600	205	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
産地は高冷地や北海道、東北からの入荷が増加してくる。北海道は天候不順だったことから、産地移行により入荷量減り、価格は高くなる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。								
だいこん	16年	2,984	74	60	86	77	北海道	58%
	17年	2,301	87	53	95	115	青森	24%
	18年	2,316	98	143	87	72	岐阜	9%
	19年	2,146	89	65	74	120	群馬	6%
	20年	2,110	84	89	96	73		
	5カ年平均	2,371	86	81	88	90		
	21年見通し	2,100	85	85	85	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
北海道を中心に青森、岐阜、群馬から入荷。作付面積の減少、雨の影響から盆前までは入荷少ないが、盆後は入荷順調となる見通し。気温高く消費は鈍るため、価格は高くも低くもならない。 入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。								
にんじん	16年	2,946	100	86	93	116	北海道	88%
	17年	2,874	99	94	88	111	青森	11%
	18年	2,335	155	227	165	115	中国	1%
	19年	2,790	64	78	46	63	愛知	0%
	20年	2,407	103	86	102	120		
	5カ年平均	2,670	102	111	96	104		
	21年見通し	2,700	110	120	110	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
上旬まで青森残るが、中盤以降は北海道からの入荷になる。当初は小玉のものが出回るが、生育は順調に回復する見込み 入荷量、価格とも前年をかなり上回る見込み。								

東京都中央卸売市場

7月22日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	16年	129,463	203	180	204	223	北海道 23%
	17年	132,422	179	164	186	187	群馬 14%
	18年	123,710	246	285	240	217	長野 11%
	19年	127,643	221	217	224	221	青森 7%
	20年	127,676	210	190	200	216	(愛知産比率) 0%
	計	5ヵ年平均	128,183	212	—	—	—
21年見通し	126,000	230	—	—	—		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東高冷産地に加えて、東北、北海道からの入荷が中心となる。関東産地は概ね順調な生育であるが、北海道、青森は7月中旬まで続いた多雨・日照不足の影響を受けて生育遅れと品質低下が懸念される。入荷量は前年並みで、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>							
だいこん	16年	10,838	78	63	90	80	北海道 70%
	17年	9,417	83	52	96	104	青森 20%
	18年	10,249	93	121	91	72	岩手 6%
	19年	10,028	85	59	77	116	群馬 1%
	20年	10,363	83	86	94	73	(愛知産比率) 0%
	計	5ヵ年平均	10,179	84	77	90	88
21年見通し	9,750	90	75	95	95		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、東北産地中心の入荷となる。北海道の生育は播種時から続く多雨により不良傾向で品質低下が予想される。青森の生育も低温の影響でやや遅れている。岩手の生育は概ね順調。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
にんじん	16年	6,781	109	97	104	120	北海道 87%
	17年	6,639	107	100	102	118	青森 10%
	18年	5,687	182	241	189	134	中国 1%
	19年	7,611	72	82	56	73	千葉 1%
	20年	6,288	111	95	114	120	(愛知産比率) 0%
	計	5ヵ年平均	6,601	113	119	109	111
21年見通し	6,000	125	135	120	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は6月の低温で生育が遅れ、8月前半に出荷量が増加する見込み。青森は低温・日照不足の影響で肥大がやや悪い。また、盆前には終了する見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							

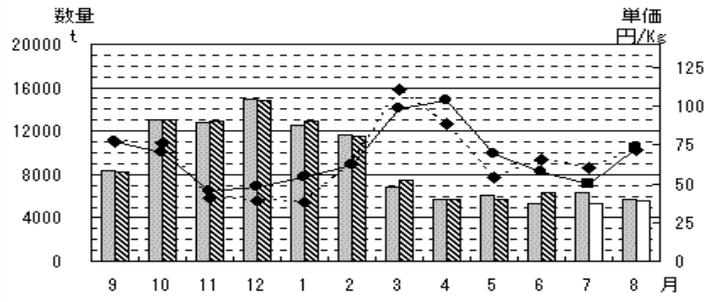
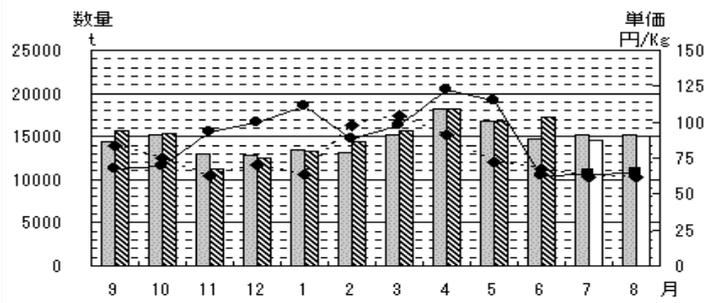
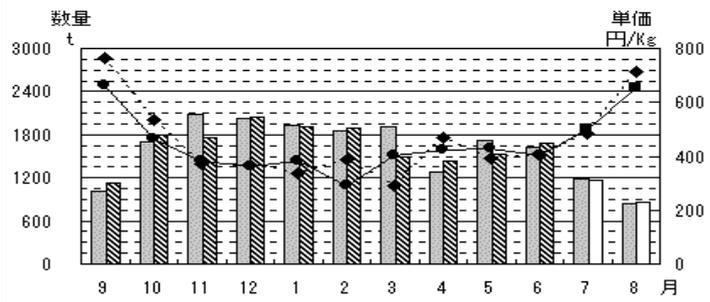
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	16年	2,917	78	69	77	85	長野 94% 北海道 6% 群馬 0%	
	17年	2,502	76	68	74	85		
	18年	2,381	123	143	145	92		
	19年	2,549	89	81	90	94		
	20年	2,148	82	70	80	96		
さい	5ヵ年平均	2,499	89	86	93	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
い	21年見通し	2,200	80	75	80	85		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/Kg
		長野、北海道中心。長野は作付面積抑制したため入荷やや減少。北海道は前年並み。長野はほ場廃棄事業行っているため8月の出荷は抑制される見込み。北海道は低温の影響で生育遅れ、ピークは盆の時期。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。						125
キャベツ	16年	3,952	67	64	63	72	群馬 62% 長野 22% 北海道 14% 愛知 2%	
	17年	4,020	57	46	61	64		
	18年	3,943	110	106	128	101		
	19年	4,436	112	114	108	114		
	20年	4,141	66	66	67	65		
さい	5ヵ年平均	4,098	83	80	86	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
い	21年見通し	3,900	75	70	80	75		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/Kg
		群馬、長野、北海道中心。北海道は天候不順で入荷のばらつきが予想される。群馬と長野は生育も順調で、玉の肥大も安定している。入荷量は前年をやや下回り、価格とも安かった前年をかなり上回る見込み。						150
ほうれんそう	16年	219	724	712	685	768	岐阜 87% 長野 4% 愛知 2% 北海道 2%	
	17年	213	716	600	725	852		
	18年	213	757	790	661	795		
	19年	248	680	694	514	805		
	20年	190	816	736	792	902		
さい	5ヵ年平均	217	735	705	668	822	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
い	21年見通し	220	700	650	700	750		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/Kg
		産地は岐阜を中心に、長野、北海道からごく一部入荷。岐阜の生育は順調で、災害等なければ平年並みの入荷を見込む。下旬は暑くて入荷が減るため、盆過ぎから徐々に単価が上昇する見込み。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						900

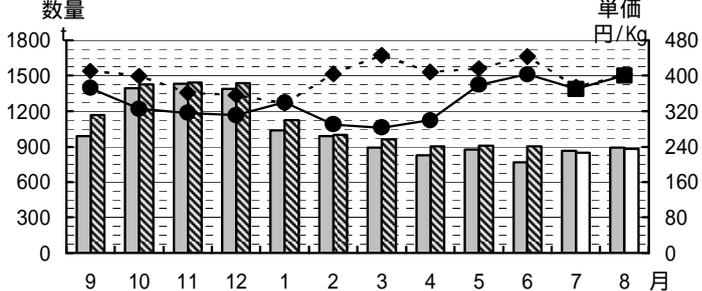
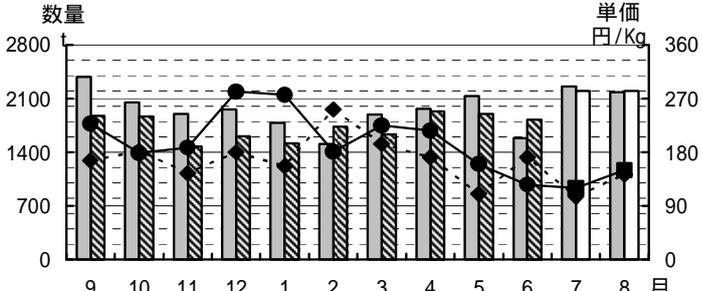
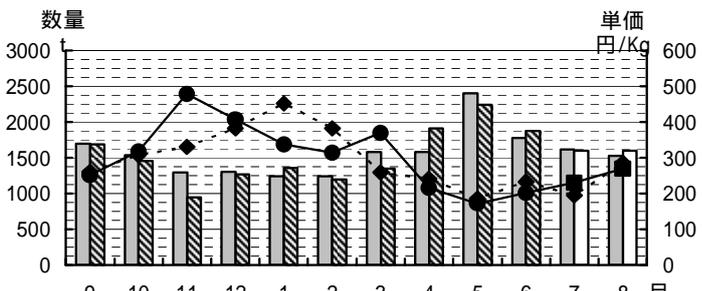
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	16年	5,883	67	57	64	77	長野 82%
	17年	6,162	61	49	57	74	北海道 8%
	18年	5,110	137	169	180	88	茨城 5%
	19年	6,039	80	74	81	84	群馬 5%
	20年	5,658	72	55	66	91	(愛知産比率) -%
さい	5ヵ年平均	5,770	82	78	87	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	5,600	73	75	75	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に引き続き長野からの入荷が中心となる。長野の生育は良好に推移している。群馬の生育も順調。 価格不振により7月下旬に緊急需給調整が実施された影響で8月の入荷量は前年並みに抑制され、価格は前年並みの見込み。</p>					 <p>数量 t: 0-20000, 単価 円/kg: 0-125. 9月~8月</p>
キヤベツ	16年	15,048	64	59	62	70	群馬 68%
	17年	15,298	53	43	57	62	岩手 17%
	18年	14,597	105	99	126	98	北海道 10%
	19年	14,546	110	109	107	114	青森 2%
	20年	15,246	62	60	65	60	(愛知産比率) 0%
べつ	5ヵ年平均	14,947	78	73	83	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	15,100	65	60	70	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬及び東北、北海道からの入荷が中心となる。群馬の生育は順調で、出荷量の多かった前年並みが見込まれる。岩手は生育順調。北海道は6月の長雨で播種が揃わず8月前半の出荷量は少ない見込み。 入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					 <p>数量 t: 0-25000, 単価 円/kg: 0-150. 9月~8月</p>
ほうれんそう	16年	871	771	713	872	740	栃木 27%
	17年	926	670	497	728	818	岩手 20%
	18年	955	668	705	570	711	群馬 19%
	19年	890	654	570	591	791	茨城 18%
	20年	839	714	660	767	716	(愛知産比率) 0%
れん	5ヵ年平均	896	694	628	702	756	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	860	650	550	600	750	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岩手と関東高冷地からの入荷となる。栃木は作付面積が拡大し、生育は概ね順調。岩手の生育は発芽不良の影響もありやや悪い。群馬の生育は順調で前年を上回る。茨城は作付面積が拡大し前年をやや上回る。入荷量は前年をわずかに上回り価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					 <p>数量 t: 0-3000, 単価 円/kg: 0-800. 9月~8月</p>

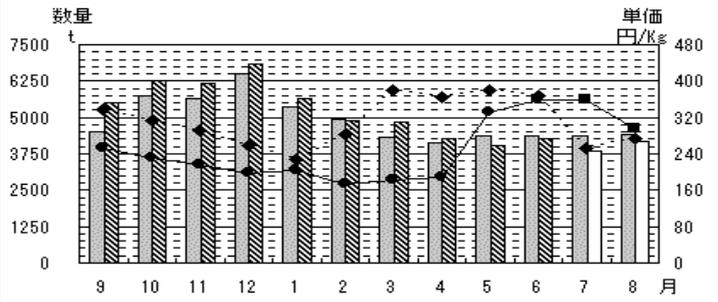
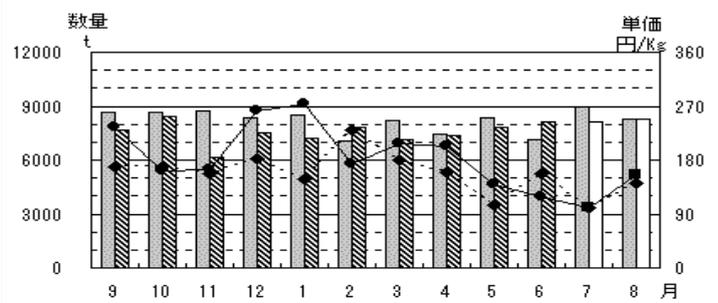
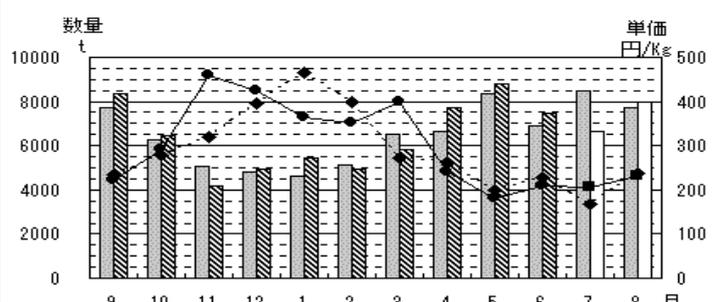
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	956	362	345	359	379	北海道 23%
	17年	897	373	354	386	381	愛知 22%
	18年	830	450	456	481	424	富山 10%
	19年	876	465	472	511	433	茨城 8%
	20年	888	402	353	418	431	
	5カ年平均	889	409	394	429	409	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	880	400	400	400		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青ねぎの愛知、この時期の需要は減少傾向。白ねぎは鳥取中心で、今月から富山、東北、北海道産が出てくる。他に数量の少ない産地が多く出る時期。 入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。</p>					
しそ	16年	2,139	141	116	159	148	長野 99%
	17年	2,315	124	100	137	134	北海道 1%
	18年	2,352	176	221	176	147	愛知 0%
	19年	2,224	233	241	251	211	京都 0%
	20年	2,180	143	121	145	160	
	5カ年平均	2,242	163	160	174	160	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,200	150	150	150		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野中心で北海道が若干。生育は停滞気味で出荷調整が続いており価格の上昇はみられない。今後は気温の上昇で品質の劣化も出てくる。 入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
きゅうり	16年	1,818	290	195	265	419	長野 40%
	17年	1,909	176	120	186	226	北海道 24%
	18年	2,316	221	166	233	276	岩手 10%
	19年	1,725	267	227	237	328	秋田 9%
	20年	1,529	285	210	231	432	
	5カ年平均	1,859	244	181	230	329	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,600	270	200	250	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野、北海道、岩手、福島で作付は減少傾向。近年、8月は降雨や高温で生育が落ち込むため、下旬の品薄が予想される。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>					

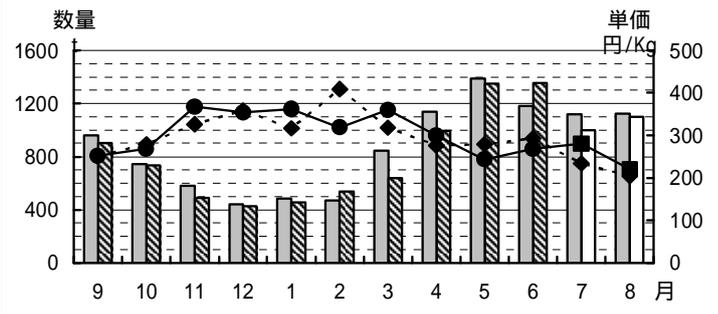
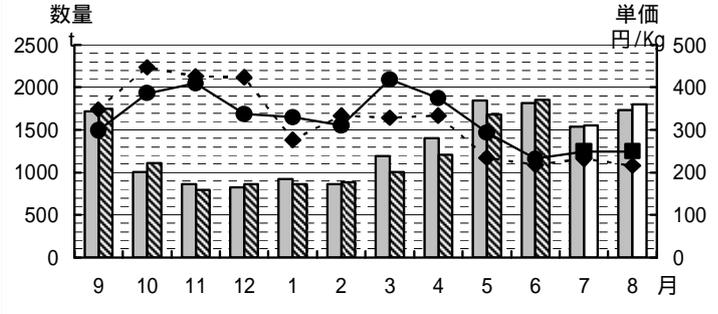
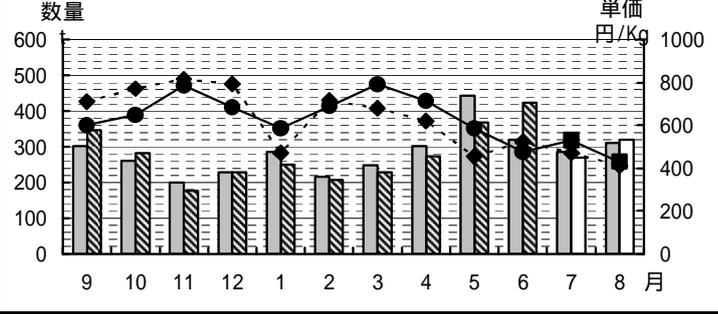
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	4,372	268	245	282	275	茨城 35%
	17年	4,330	229	201	268	224	青森 19%
	18年	4,157	287	314	319	247	北海道 11%
	19年	4,246	294	265	391	261	千葉 7%
	20年	4,428	274	221	288	306	(愛知産比率) -%
	5カ年平均	4,307	270	248	309	263	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	4,200	295	340	300	270	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		茨城、青森からの入荷が増える。茨城の生育は、日照不足の影響で肥大が7日程度遅れている。青森、北海道の生育も低温・日照不足の影響で、肥大が7日程度遅れている。 全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					
し	16年	8,765	131	109	141	144	長野 81%
	17年	9,072	114	88	127	127	群馬 14%
	18年	8,285	168	214	162	137	岩手 3%
	19年	7,802	216	228	235	193	茨城 1%
	20年	8,245	141	120	139	161	(愛知産比率) 0%
	5カ年平均	8,434	152	149	159	151	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	8,300	155	130	160	150	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		長野からの入荷が中心となる。長野の生育は干ばつの影響でやや小玉傾向であるものの出荷量は前年並みの見込み。群馬の生育は順調で品質も良好であり、不作だった前年をやや上回る出荷見込み。 入荷量は前年並みで、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。					
き	16年	7,960	257	166	214	408	福島 47%
	17年	9,075	149	101	160	195	岩手 23%
	18年	8,417	242	340	142	248	秋田 12%
	19年	8,552	239	199	212	304	茨城 4%
	20年	7,750	237	168	176	408	(愛知産比率) -
	5カ年平均	8,351	223	194	180	308	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	8,000	230	200	270	230	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		東北産地からの入荷が中心。福島露地は日照不足で草勢回復が遅れ、8月前半に出荷ピークの見込み。岩手、秋田は、日照不足に加えて7月中旬の強風で葉が傷み回復が遅れ8月前半にピークがずれこむ見込み。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	16年	1,349	212	184	172	287	愛知 29%
	17年	1,446	167	222	131	155	山梨 21%
	18年	1,138	311	412	340	231	徳島 18%
	19年	1,222	262	335	324	177	岐阜 7%
	20年	1,123	204	205	166	257	
	5ヵ年平均	1,256	228	267	222	220	
21年見通し	1,100	220	240	200	220	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、山梨、徳島。品種は夏秋ものに切り替わる。入荷量は天候で左右されるが、各産地とも生育は順調。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
産地は愛知、山梨、徳島。品種は夏秋ものに切り替わる。入荷量は天候で左右されるが、各産地とも生育は順調。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
ト マ ト	16年	1,937	272	183	238	431	岐阜 60%
	17年	1,987	232	219	214	262	北海道 17%
	18年	1,892	322	307	302	351	青森 8%
	19年	1,971	273	267	231	314	愛知 7%
	20年	1,735	216	193	191	272	
	5ヵ年平均	1,904	264	234	236	327	
21年見通し	1,800	250	250	250	250	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岐阜の高原ものを中心に、東北、北海道が出てくる時期。夏場の産地は特徴のある味の良いものが出てくる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
産地は岐阜の高原ものを中心に、東北、北海道が出てくる時期。夏場の産地は特徴のある味の良いものが出てくる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。							
三 二 ト マ ト	16年	287	458	326	361	691	北海道 67%
	17年	329	397	384	374	426	長野 12%
	18年	319	594	623	620	561	愛知 8%
	19年	344	474	529	440	456	
	20年	310	411	360	349	520	
	5ヵ年平均	318	467	448	430	526	
21年見通し	320	430	390	400	520	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道を中心に、長野、愛知、山形。北海道は5、6月の低温、曇天の影響で生育・出荷は遅れ気味。上旬に入荷のピークを迎える見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
産地は北海道を中心に、長野、愛知、山形。北海道は5、6月の低温、曇天の影響で生育・出荷は遅れ気味。上旬に入荷のピークを迎える見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや上回る見込み。							

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	16年	5,643	166	138	130	243	栃木 31%
	17年	5,915	147	167	134	139	群馬 24%
	18年	5,083	286	368	288	231	茨城 22%
	19年	5,622	237	291	318	159	埼玉 11%
	20年	5,122	208	192	157	291	(愛知産比率) 0%
	5カ年平均	5,477	207	228	204	210	
す	21年見通し	5,300	230	240	220	250	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心となる。関東産地はいずれも生育順調で、梅雨明け後の出荷量も増加しており、本年は天候に恵まれれば昨年を上回る出荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>							
ト	16年	9,856	249	164	210	416	青森 22%
	17年	10,864	194	181	185	217	福島 19%
	18年	9,865	288	317	240	306	北海道 11%
	19年	10,206	239	229	204	287	群馬 10%
	20年	9,232	227	214	188	295	(愛知産比率) 0%
	5カ年平均	10,005	239	220	205	302	
ト	21年見通し	9,500	240	300	220	220	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>東北産地からの入荷が中心となる。青森は着果状態は良好であるが低温・日照不足の影響で着色が遅れている。福島、群馬の生育は順調である。北海道も低温・日照不足の影響で生育がやや遅れぎみ。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
ニト	16年	1,005	447	317	343	694	北海道 22%
	17年	1,044	378	361	364	407	岩手 21%
	18年	1,019	583	608	579	566	福島 18%
	19年	1,195	464	471	475	450	茨城 16%
	20年	1,194	405	384	372	460	(愛知産比率) 0%
	5カ年平均	1,091	454	428	426	511	
ト	21年見通し	1,200	470	480	450	500	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>岩手、福島に加え北海道からの入荷が増えてくる。北海道は低温・日照不足の影響でやや生育が遅れている。岩手、福島の生育は良好だが、天候不順で着色が遅れている。</p> <p>入荷量は前年並みであり、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							

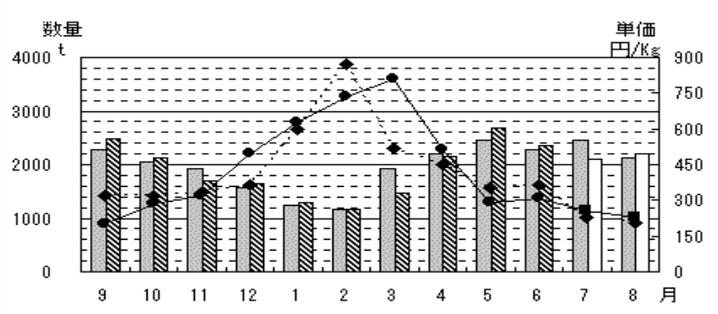
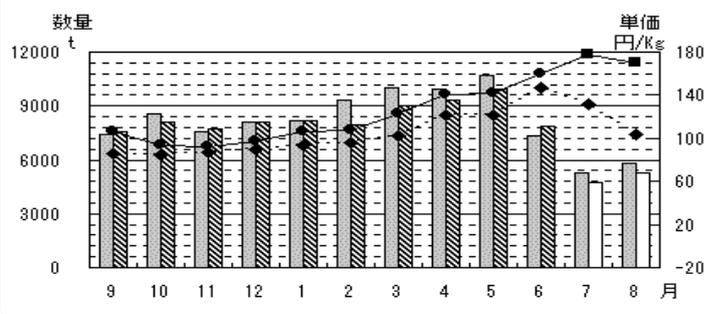
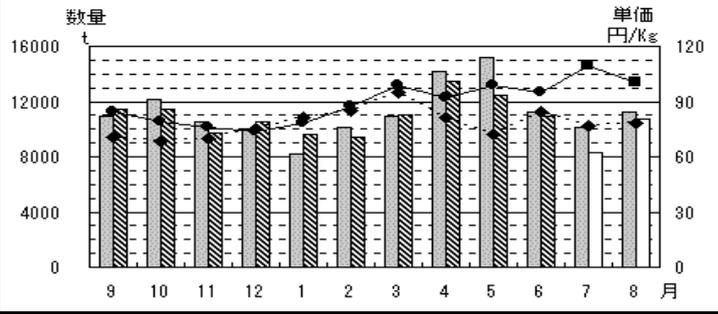
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	16年	671	212	197	210	228	岩手 47%
	17年	754	210	230	190	208	北海道 32%
	18年	574	344	567	373	237	福島 6%
	19年	550	307	376	261	286	青森 6%
	20年	549	244	222	245	259	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	620	259	310	251	241	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	550	260	250	260	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岩手、北海道中心。北海道は5、6月の天候不良の影響で生育・出荷は若干遅れ気味。梅雨明け後のこの時期に出荷が集中することが予想される。 入荷量は前年並み、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	16年	2,916	113	111	120	111	北海道 52%
	17年	3,501	132	131	142	126	青森 41%
	18年	2,660	124	138	128	110	長崎 2%
	19年	2,498	89	86	89	91	愛知 2%
	20年	2,860	95	90	98	95	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	2,887	112	112	117	108	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,600	110	130	120	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道、青森中心。北海道は上旬から早出し始まり、盆明けからメイクイン本格化。青森は北海道の本格出荷始まる20日をめどに終了。どちらも小玉傾向。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
たまねぎ	16年	4,595	89	90	95	86	兵庫 61%
	17年	4,647	79	86	80	72	北海道 24%
	18年	5,192	82	100	94	67	佐賀 8%
	19年	4,522	72	82	67	68	愛知 5%
	20年	5,430	67	58	65	74	
ねぎ	5カ年平均	4,877	78	83	80	73	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	4,500	100	110	100	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>兵庫中心から盆以降北海道が入荷。数量は兵庫主体。兵庫は昨年より若干少なめで終了と見込まれる。市場は北海道の入荷を待つ状態になる。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	16年	2,260	165	172	168	159	岩手 44%
	17年	2,451	161	204	143	138	茨城 24%
	18年	2,132	350	642	325	200	福島 18%
	19年	2,212	253	326	217	223	青森 11%
	20年	2,139	203	179	207	219	(愛知産比率 -%)
マン	5カ年平均	2,239	224	300	210	186	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,200	230	250	220	230	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>岩手、茨城、福島からの入荷が中心。岩手の生育は概ね順調で、平年並みに入荷する見込み。茨城の生育も順調。福島も概ね順調であるが、地域により7月中旬の強風による枝折れがみられる。入荷量は前年をわずかに上回り価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばいしよ	16年	5,706	116	107	121	119	北海道 70%
	17年	5,585	138	144	145	130	青森 9%
	18年	5,442	128	141	124	119	茨城 7%
	19年	5,325	93	91	93	93	千葉 5%
	20年	5,833	103	100	105	103	(愛知産比率 -%)
いしよ	5カ年平均	5,578	116	117	118	113	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	5,250	170	200	180	140	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道からの入荷が中心。北海道は天候不順の影響で生育がやや遅れているが平年並みの見込み。また一部地域で降雨が続き収量低下が懸念。青森、茨城は天候不順でやや不作傾向。千葉は順調。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格も安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	16年	11,080	96	98	102	90	佐賀 37%
	17年	10,348	84	86	84	81	北海道 27%
	18年	10,230	93	102	95	85	兵庫 23%
	19年	10,332	79	81	81	75	香川 3%
	20年	11,236	78	71	80	83	(愛知産比率 1%)
ねぎ	5カ年平均	10,645	86	87	88	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	10,700	100	110	110	80	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>佐賀、北海道、兵庫からの入荷が中心。佐賀、兵庫の貯蔵ものはLM中心で玉しまりも良く中旬まで安定した入荷となる。北海道は盆明けからの入荷となるが天候不順による病害発生が懸念される。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	16年	17,268	304	320	315	279	長野 22%
	17年	16,896	292	303	298	271	フィリピン 14%
	18年	14,281	345	359	344	328	愛知 13%
	19年	13,436	356	353	344	370	山形 12%
	20年	13,660	330	361	335	286	
	5カ年平均	15,108	323	-	-	-	
	21年見通し	12,900	320	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>夏果実の最盛期を迎える。上中旬は盆需要から単価上昇。下旬は下落。全体として入荷は少なめだが、消費が低迷していることから低価格傾向。入荷量は、価格とも前年をやや下回る見込み。</p>					
ア ー メ ロ ン	16年	581	443	454	471	378	愛知 55%
	17年	451	521	521	555	456	静岡 30%
	18年	429	522	524	506	556	茨城 8%
	19年	396	558	529	550	666	高知 4%
	20年	383	529	548	526	478	
	5カ年平均	448	509	510	518	496	
	21年見通し	380	530	550	550	480	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は高地が終盤を迎え、愛知、静岡中心。今後の天候にもよるが大玉傾向。上中旬は盆の需要で単価上がるが、下旬は下落する見込み。入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。</p>					
す い か	16年	2,060	156	164	152	127	山形 42%
	17年	2,933	122	114	133	131	長野 28%
	18年	2,898	148	146	143	158	秋田 13%
	19年	2,799	174	158	175	211	青森 9%
	20年	2,635	160	193	168	69	
	5カ年平均	2,665	151	154	154	141	
	21年見通し	2,600	150	140	150	160	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は山形、長野を中心に、盆前の出荷のウエイトを高めている。盆前後から傷みが発生し品質劣化、冷夏になれば消費は鈍いことが予想される。盆後は産地で出荷量減らしており、品薄が予想される。入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	16年	46,975	297	314	304	271	山形 17%
	17年	52,379	267	268	273	258	山梨 12%
	18年	46,035	320	309	324	329	フィリピン 9%
	19年	42,798	345	323	356	364	長野 8%
	20年	44,671	312	337	328	265	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	46,572	306	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	43,000	300	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>すいか、なし、もも中心に入荷する。なしは「幸水」中心に入荷。各産地とも生育良好で順調に入荷見込み。ももは生育前倒し傾向で下旬は減少見込みである。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格も前年をやや下回ると見込まれる。</p>					
ア ー メ ロ ン	16年	1,134	418	445	441	365	静岡 39%
	17年	953	477	487	524	394	茨城 32%
	18年	865	520	515	537	508	愛知 10%
	19年	752	586	508	636	676	千葉 6%
	20年	770	491	601	510	362	(愛知産比率 10%)
	5カ年平均	895	491	505	522	451	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	750	500	550	500	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、茨城中心に愛知、千葉から入荷する。静岡の生育は概ね順調だが栽培面積の減から量的にも減少傾向。茨城の生育は順調で品質・肥大も良好。愛知の生育も概ね順調である。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みと見込まれる。</p>					
す い か	16年	8,575	149	155	154	129	山形 45%
	17年	12,663	118	106	129	138	長野 15%
	18年	11,644	140	129	142	174	秋田 12%
	19年	10,872	176	147	191	230	神奈川 9%
	20年	10,881	161	184	168	88	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	10,927	148	142	156	153	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	11,500	160	165	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>山形を中心に長野、秋田などから入荷する。山形の生育は順調で、肥大も良好である。作型を早めた地区もあり旧盆前に入荷増見込み。長野は栽培面積が減少。秋田の生育は遅れ気味で推移している。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並と見込まれる。</p>					

切花・鉢花の8月の見通し

切花（地方卸売市場ヤマエ生花市場 7月24日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	16年	1,330	52	
		17年	1,352	50	
		18年	1,224	53	
		19年	1,378	58	
		20年	1,240	59	
	5ヶ年平均	1,305	54		
21年見通し	1,300	58			
概要	<p>愛知、長野を中心に入荷。愛知は白系、長野は黄赤系中心の入荷となる。生育は順調も露地物は7日程度の前進、施設物もやや前進傾向で推移、前半は潤沢な入荷が予想される。価格は前半は盆需要により堅調も、後半は一段落となろう。</p>				
小 ぎ	実績	16年	1,354	34	
		17年	1,711	29	
		18年	1,341	39	
		19年	1,600	33	
		20年	1,347	37	
	5ヶ年平均	1,471	34		
21年見通し	1,580	36			
概要	<p>愛知、長野、奈良、兵庫から入荷。生育は各産地とも順調に推移も、6月上旬以降の少雨の影響で7日程度の前進がみられる。価格は前半盆需要で引き合い強く堅調な取引展開も、後半は動きも一段落となりやや苦しい展開となろう。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	16年	551	46	
		17年	663	42	
		18年	619	45	
		19年	671	44	
		20年	546	43	
	5ヶ年平均	610	44		
21年見通し	560	43			
概要	<p>長野を中心に北海道等から入荷。全体的に生育は順調に推移している。出荷時期はスタンダードが順調、スプレー系はやや遅れ気味も需要期である前半は潤沢な入荷が予想される。価格は前半盆需要により堅調な動きも、後半はやや苦しい動きが予想される。</p>				
か す み	実績	16年	39	109	
		17年	45	95	
		18年	43	95	
		19年	48	91	
		20年	51	88	
	5ヶ年平均	45	95		
21年見通し	52	90			
概要	<p>福島、北海道を中心に長野からも入荷。全体的に生育は順調に推移、入荷も平年より多めであるが中旬ごろには落ち着く。気温上昇による花持ちが心配され、比較的に花持ちが良い「アルタイル」に人気集中する。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	16年	265	140	
		17年	277	138	
		18年	234	158	
		19年	238	158	
		20年	217	157	
	5ヶ年平均		246	149	
	21年見通し		225	155	
概要	新潟、北海道を中心に入荷。てっぼうゆりは兵庫、愛媛を中心に入荷。7月後半より増加、盆需要により動きは堅調。オリエンタル系は新潟・北海道を中心に前年より多めの入荷。すかしゆりは新潟から入荷も作付減少により少なめ。価格は盆需要のある前半は強めの動きも、後半はやや苦しい動きとなる。				
洋 ら ん	実績	16年	323	76	
		17年	344	73	
		18年	301	78	
		19年	362	66	
		20年	271	77	
	5ヶ年平均		320	74	
	21年見通し		270	78	
概要	愛知、静岡、宮崎等と輸入物が入荷。国内産のカトレア、コショウランは気温上昇に伴い少なめの入荷。輸入デンファレは減産期を終え徐々に増加するも、人気品種の「アンナ」は少なめと予想される。価格は前半盆需要によりデンファレ等を中心に堅調も、後半は苦しい動きとなる。				
ば ら	実績	16年	320	47	
		17年	354	40	
		18年	307	46	
		19年	299	50	
		20年	244	60	
	5ヶ年平均		305	48	
	21年見通し		246	58	
概要	愛知、岐阜、三重、長野等を中心に入荷。気温上昇に伴い暖地産は減少し、高冷地産が中心の入荷となる。品質格差が生じるため、高冷地産の引き合いが強まる。				
枝 も の	実績	16年	1,261	45	
		17年	1,312	47	
		18年	1,227	55	
		19年	1,212	54	
		20年	1,130	51	
	5ヶ年平均		1,228	50	
	21年見通し		1,200	48	
概要	静岡、愛知、長野、福岡等から入荷。ほうづき、シキミ、ヒサカキ等の盆商品の引き合い強まる。ほうづきの生育は順調で前年並みの入荷。他の花材ではパンパス・朝鮮マキの動きも良い。価格は盆需要により堅調も後半は稽古も休みとなり、入荷が多ければ苦しい展開になると思われる。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
スパティフィラム	実績	16年	12,053	304	
		17年	13,910	224	
		18年	20,504	196	
		19年	9,973	280	
		20年	13,254	208	
	5ヶ年平均		13,939	235	
	21年見通し		12,000	200	
概要	高温期で花もちが悪く、厳しい動きになりそう。また、入荷量も少なそうである。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位三重(73%)、2位岐阜(15%)、3位愛知(12%)となっている。				
ミニバラ	実績	16年	6,369	145	
		17年	7,335	110	
		18年	4,235	123	
		19年	6,383	79	
		20年	1,942	159	
	5ヶ年平均		5,253	117	
	21年見通し		1,800	150	
概要	需要期ではないので、入荷量は少なそう。単価面でも厳しい動きになりそう。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位山口(43%)、2位岐阜・三重(24%)となっている。				
ドラセナ類	実績	16年	52,605	564	
		17年	52,483	463	
		18年	33,310	685	
		19年	35,959	562	
		20年	23,724	625	
	5ヶ年平均		39,616	565	
	21年見通し		24,000	620	
概要	入荷量は昨年並みか。主体はユッカ、マッサンの6~7号の中鉢で、大鉢は少なそうである。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(70%)、2位鹿児島(9%)、3位沖縄(8%)となっている。				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
アンズリウム	実績	16年	18,221	738	
		17年	18,521	979	
		18年	14,988	1,074	
		19年	15,142	1,107	
		20年	14,124	973	
	5ヶ年平均		16,199	965	
	21年見通し		14,000	900	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。単価面では4～6号鉢は引き合いがなく厳しそう。その反面、7～10号鉢は引き合いが強そうである。 昨年8月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（97%）、2位三重（3%）となっている。</p>				
オンシジウム	実績	16年	9,531	844	
		17年	6,388	1,005	
		18年	5,530	865	
		19年	5,340	957	
		20年	4,000	820	
	5ヶ年平均		6,158	898	
	21年見通し		3,000	800	
概要	<p>生産量の減少もあり、入荷量は少なそう。全体的に咲きすぎのものが目立つので、固めでの出荷をお願いしたい。 昨年8月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（60%）、2位長崎（13%）、3位高知（10%）となっている。</p>				
シャコバサテン	実績	16年	18,147	413	
		17年	13,533	417	
		18年	13,171	408	
		19年	7,163	429	
		20年	4,464	526	
	5ヶ年平均		11,296	424	
	21年見通し		4,000	500	
概要	<p>盆明けから山上げ商品の入荷が始まるが、入荷量は少なそう。3・5～6号の小鉢が主体で、大鉢ものはほとんどなさそうである。 昨年8月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（67%）、2位愛知（31%）、3位茨城（2%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績 (2009年)

1 輸入実績

品名	5月						5月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	40,442	108.7	4,094,717	96.3	101	88.6	251,364	99	24,053,843	89	96	89.9
トマト	119	141.3	37,399	130.1	315	92.1	636	105	191,806	90	302	85.7
たまねぎ	12,112	124.5	536,140	145.1	44	116.5	67,699	93	2,794,325	105	41	113.7
にんにく	1,382	121.0	105,250	97.4	76	80.5	8,009	108	610,042	83	76	76.2
ねぎ	2,422	86.1	281,662	88.6	116	103.0	11,477	91	1,080,649	69	94	76.1
ブロッコリー	3,586	111.4	566,237	96.0	158	86.2	11,196	84	1,967,433	87	176	102.6
結球キャベツ	1,819	524.7	75,940	554.3	42	105.6	10,027	372	357,170	314	36	84.3
にんじん・かぶ	2,812	61.5	162,642	41.4	58	67.4	17,237	97	921,053	67	53	68.8
ごぼう	2,128	83.6	104,318	66.5	49	79.5	13,970	80	539,122	51	39	64.2
えんどう	17	20.9	4,190	25.1	246	119.8	400	84	79,418	88	199	103.8
アスパラガス	421	93.7	261,073	82.1	620	87.7	6,065	111	3,075,877	98	507	88.2
まつたけ	-	-	-	-	-	-	82	-	470	-	6	-
しいたけ	220	124.1	58,137	127.4	264	102.6	2,346	93	528,817	88	225	94.8
かぼちゃ	9,276	119.7	650,220	103.8	70	86.7	80,866	104	4,707,689	81	58	77.5
果実(生鮮・乾燥)	188,939	105.0	25,713,042	91.9	136	87.6	874,575	114	95,748,615	100	109	87.5
バナナ	120,518	122.3	10,282,043	125.8	85	102.9	544,160	134	40,807,379	144	75	108.0
パイナップル	13,757	97.4	931,554	104.2	68	106.9	57,419	92	3,874,266	100	67	109.7
レモン	3,416	69.1	394,466	31.2	115	45.1	19,398	94	2,231,117	46	115	49.1
オレンジ	8,955	89.8	860,300	84.1	96	93.6	45,649	101	4,580,294	100	100	99.0
グレープフルーツ	8,574	68.2	807,725	62.1	94	91.0	96,370	91	9,766,985	90	101	98.7
メロン	4,012	96.2	429,057	91.5	107	95.1	16,579	91	1,895,415	88	114	97.0
ぶどう	518	62.5	85,399	55.7	165	89.1	5,122	104	774,658	77	151	73.6
キウイ	10,673	63.6	3,308,450	64.7	310	101.7	19,274	69	5,989,256	73	311	105.1
いちご	14	138.6	11,752	122.1	851	88.1	49	127	31,166	92	633	72.0
切花(生鮮・乾燥)	2,307	99.6	1,907,334	96.4	827	96.8	14,540	102	10,882,475	94	748	91.7
鳥獣肉類	133,205	85.9	56,566,995	77.0	425	89.6	664,639	96	289,121,955	90	435	93.7
牛肉(くず肉含む)	32,307	84.3	13,194,901	71.4	408	84.7	183,057	104	69,869,040	84	382	80.9
豚肉(くず肉含む)	61,950	81.5	32,498,139	81.3	525	99.8	307,078	92	160,874,051	92	524	99.6
鶏肉	31,626	98.0	6,765,965	77.1	214	78.7	136,447	90	38,048,567	97	279	107.6
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	157,360	88.3	81,272,302	79.2	516	89.7	725,161	91	383,495,909	83	529	91.4
まぐろ類	17,067	86.1	13,937,060	100.6	817	116.9	92,735	92	90,185,404	82	973	89.4
さば・さんま・あじ・いわし	6,080	83.0	981,888	115.0	162	138.5	58,140	108	10,287,037	106	177	98.3

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	467	94.0	267,716	105.3	573	112.1	10,539	77	2,841,558	65	270	84.7
うんしゅうみかん	5	83.4	7,341	79.9	1,553	95.8	105	63	69,364	89	660	141.0
りんご	371	84.0	117,458	77.0	316	91.7	10,165	78	2,418,631	64	238	81.5
なし	-	-	-	-	-	-	12	19	6,238	18	525	96.6
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	310,426	124.8	-	-	-	-	1,199,370	86	-	-
緑茶	174	130.3	298,648	114.3	1,720	87.8	785	134	1,337,831	111	1,704	83.3

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 <small>（全国 平成17年 = 100）</small> <small>愛知県 平成17年 = 100</small>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	20年平均	101.7	104.7	102.4	106.9	105.5
	21年 1月	100.7	109.0	104.6	106.9	106.5
	2月	100.4	101.7	100.4	106.7	105.3
	3月	100.7	103.7	97.4	106.9	105.3
	4月	100.8	110.3	89.3	106.2	105.5
	5月	100.6	105.7	104.3	106.0	105.1
愛 知 県	20年平均	101.7	100.9	101.6	104.8	104.0
	21年 1月	101.3	104.1	103.5	104.7	103.8
	2月	100.8	94.6	100.8	103.6	101.2
	3月	101.3	97.2	97.3	102.6	104.5
	4月	101.7	103.4	90.1	101.4	104.0
	5月	101.3	100.0	101.3	101.5	105.4

項目 年月		農業物価指数（平成17年 = 100）				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
20年平均	20年平均	97.7	94.7	104.8	100.8	101.6
	21年 1月	98.9	98.6	110.0	99.1	95.2
	2月	96.5	98.6	101.3	103.2	96.3
	3月	103.7	98.4	122.2	84.8	96.0
	4月	97.4	98.7	108.1	76.7	97.6
	5月	94.2	98.6	100.7	82.4	100.0

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格（円）													
品目 単位 年月	うるち米 <small>（単一品種、 「コシカ」 以外）</small>	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご（ふじ）
	5 kg	1 kg										100g	1kg
20年平均	2,212	150	170	637	420	272	143	331	191	558	605	208	494
21年 1月	2,208	188	136	613	626	266	119	273	190	642	628	226	409
2月	2,215	167	127	519	426	271	118	270	185	604	599	215	395
3月	2,243	152	169	511	471	276	123	271	194	666	699	190	410
4月	2,243	209	261	503	426	354	164	303	207	432	674	189	442
5月	2,240	236	229	572	380	302	142	306	180	401	603	184	467
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶（せん茶）	カーネーション	きく	バラ	豚肉（ロース）	牛肉（ロース）	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
20年平均	553	346	408	150	261	669	614	163	172	328	230	824	492
21年 1月	554	346	389	150	256	669	610	162	166	335	228	791	485
2月	592	338	405	148	259	650	599	158	161	328	225	785	465
3月	606	318	345	143	253	608	607	164	168	336	223	754	473
4月	-	306	338	122	266	605	611	158	166	326	223	732	461
5月	-	296	345	121	263	723	611	177	159	328	223	750	483

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 434
平成21年8月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417